

## 商業施設におけるパブリックトイレのデザイン評価 指標の構築に関する研究

王, 昕

<https://doi.org/10.15017/1500803>

---

出版情報：九州大学, 2014, 博士（芸術工学）, 課程博士  
バージョン：  
権利関係：全文ファイル公表済

氏名	王 昕
論文名	商業施設におけるパブリックトイレのデザイン評価指標の構築に関する研究 Study on the Establishment of Public Toilet Design Evaluation Index for Commercial Facilities
論文調査委員	主 査 九州大学 教授 森田 昌嗣 副 査 九州大学 教授 都甲 康至 副 査 九州大学 准教授 曾我部 春香

## 論文審査の結果の要旨

博士(芸術工学)の学位申請のために提出された本論文は、百貨店や駅ビルなどの商業施設におけるパブリックトイレのデザイン評価指標の構築することを目的に、現況のパブリックトイレの設備や空間の特徴や傾向等を評価する機能面と意匠面の両面におけるデザイン評価指標を構築し、その評価指標の検証・考察からパブリックトイレの整備方針を導出している。不特定多数の利用を前提としたパブリックトイレは、汚い・暗い・臭い・怖い・壊れている「5K」の印象があったが、近年では、パブリックトイレは、商業地や観光地のホスピタリティを体験する代表的施設として都市環境を構成する重要な役割を担っている。また、パブリックトイレには、障害者、高齢者を含む多様な人々に対応したユニバーサルデザインの考え方や、トイレ使用以外の化粧直しや休憩など、さまざまな公共サービスの要望に応える必要が出てきている。パブリックトイレを計画設計するためには、多様化するニーズに対応できる一定の整備方針を定める必要があることから、本研究では、パブリックトイレのデザイン評価指標を構築することによって、その評価指標に基づく整備方針を提案するものである。本論文は、6章で構成されている。第1章は、研究の背景、そして目的・方法、既往研究などを整理している。第2章は、パブリックトイレのデザイン評価指標の構築をおこなっている。最新の整備事例を収集し、整備内容に関する整備要素と評価要素を明記したセンテンスの整理や簡潔な文章化などによって、機能面12指標(多様な利用者、荷物、安全・プライバシー、休憩・身づくろい、などの配慮、指標)と意匠面6指標(ハイセンス、マイルド、ハーモニーなどの印象指標)からなるデザイン評価指標を構築している。第3章「指標検証に向けた整備内容の検討」では、前章で構築したデザイン指標について実際に整備されている事例にあてはめ検証項目を抽出している。第4章においては、検証項目を用いた調査表を用いて、東京、大阪、福岡3都市の主要ターミナル駅ビルもしくは駅直結の商業施設を対象に観察調査を行い、構築した指標の有用性や適用範囲、改善すべき点などを検証している。第5章「構築したデザイン評価指標の考察」では、検証結果を用いて構築したデザイン評価指標の内容に関する考察によって、商業施設の多様なニーズに対応できるパブリックトイレ整備方針の方向性を導いている。まとめとした第6章では、商業施設のパブリックトイレの整備方針は、多様な利用者のニーズへの配慮、維持管理上の考慮、より良いトイレ環境の向上策、そして話題性や意匠性のあるトイレ空間計画設計のためのデザイン項目(展開例)などを提示している。総括としては、本研究で提示されたパブリックトイレの評価指標を用いた整備方針の方向性(大きくは、ユニバーサルデザイン性、快適性、そして維持管理)は、機能面と意匠面の両面から多様な利用者が満足で、きる快適なトイレ環境づくりに貢献できること、そしてこの整備方針の方向性に基ついた具体的なデザイン項目は、パブリックトイレ計画および設計段階での実践的デザイン方法研究に貴重な示唆を与える内容を提示したものである。

以上のように、本研究は、着眼点の独自性と共に、既に国際会議等で採択された学術論文を含む

研究成果に結実しており、得られた知見は芸術工学研究を含め社会に寄与するものと評価できる。したがって本審査委員会は、厳正なる学位審査の結果、本論文を博士(芸術工学)の学位に値するものと判断した。